



やまな

周南たちばな学園 山名小学校
学校だより No.16
令和5年1月25日発行

6年児童の「山名っ子ノート」の日記に、「下校中、多くの中学生たちが、『こんにちは』『さようなら』と言ってきて最初はびっくりしたけど、あいさつをされて気持ち良かった。」と書かれていました。誰にでもあいさつをすることができる周南中学生の立派さはもちろんですが、あいさつをしてくれた中学生やあいさつの気持ちの良さに気づき心にとどめ日記に書き表す6年生も素晴らしいと思いました。

「一月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われます。1日1日を大切に、互いの良さや頑張りを認め合いながら、学習・生活のまとめや次の学年に向けての準備をしていきます。引き続き、本校教育活動への御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

—学校給食週間—

【給食委員会主催の集会】

1月19日にコドモンにて配信された「地産楽食」で紹介されていましたが、袋井市では、全国学校給食週間に合わせて、23日(月)～27日(金)に学校給食週間献立を実施します。

本校では、23日～25日に給食委員会主催の集会を実施します。23日には、高学年児童を対象に〇×クイズを行いました。

クイズは、「秋の味覚のサンマはDHAという栄養が入っています。DHAは身長をあげる効果がある、〇か×か。」や「炭水化物抜きダイエットはよいか、〇か×か」等、高学年らしく食べ物の栄養について問う等の内容のものが10問出題されました。

友達と相談しながら楽しそうにクイズに参加する姿が見られ、食への興味・関心を高める機会となりました。給食委員会の児童は、9月から昼休みの時間も使って準備を進めてきたそうです。24日は低学年、25日には中学年対象にクイズを行います。



【小林美也子栄養士の「食育」への思い】

学校だより NO.14 にて、ロイロノートの「資料箱」から給食の献立の詳細や袋井給食センターで調理している様子を見ることができるところを紹介しました。毎日、資料を掲載している小林栄養士に、「食育」への思いを尋ねました。

「食育」は、生きている上での基本で、知育・徳育・体育の基礎となるべきものとして位置づけられているとともに、様々な経験を通して「食」に関する知識と「食」を選択する力を身につけ、健全な食生活を実践することができる子どもを育てることを目標として務めています。

しかし、コロナ禍も手伝って、子どもたちや保護者の方の前で、「食育」のお話をする機会が減ってしまいました。タブレットの活用が進み、その中でロイロノートに着目し、昨年4月から、毎日ロイロノートに、食育資料を掲載してきましたが、文字だけの資料ということもあり、なかなか興味をもっていただけませんでした。

そのため、動画をつけて掲載したところ、給食を作っている様子が分かってとてもよかったと興味をもってもらえる手ごたえを感じました。そこで、昨年末から給食センターで給食を作っている様子を撮影し、その日の給食の時間に間に合うように編集しました。そして、給食の時間には、ほとんどのクラスでみていただけるようになりました。

毎回同じアングルで同じ流れだと見慣れてしまい、みてもらえなくなるといけないと思い、農家さんに取材に行ったり作っている調理員さんのコメントをもらったりと、なるべく違う動画になるようにもしています。調理員さんの中には、山名小の保護者の方も数名いらっしゃるので、教室だけでなく家庭でも話題になっているようです。

御家庭でも、ぜひお子さんと一緒に動画をみていただき、家庭での「食育」のお手伝いになればと思います。

「食べる意欲は、生きる意欲」
食べ物は、健康で長生きするためであるとともに、食べ方を間違えると病気になってしまうこともあります。子どもたちには「自分の健康は自分で守れる人」、そして大人になったら「家族の健康を守れる人」になってほしいと切に願っています。



袋井給食センターでお仕事されている皆さん

食育資料の見方

ロイロノート「資料箱」から「静岡県袋井市共有」→「給食」→「資料◆袋井センター」

<奉仕作業への御参加ありがとうございました>

1月21日(土)に、4年生の保護者の方を中心に奉仕作業を行いました。

扇風機や窓等の子どもたちでは手が届かないところや、流しの排水口等の日ごろの掃除ではできないところをきれいにさせていただきました。ありがとうございました。

<転出の予定がある場合には>

転出の御予定がある場合は、すみやかに学校へ連絡をお願いします。4月以降の転出予定についても、その可能性があると思った段階で、担任にお知らせください。御協力の程、よろしくお願いいたします。